

電子ジャーナル創刊挨拶

唯物論研究協会委員長

中西 新太郎 NAKANISHI, Shintaro

唯物論研究協会は、「唯物論の研究および現代の社会と文化に関する批判的研究の発展と交流」を目的として1977年に設立され、昨年30周年を迎えた学会です。唯物論研究協会の前身は遠く戦前に遡り、日本の軍国主義体制に思想分野での抵抗を続けた歴史を持っています。本協会も、現代世界のアクチュアルな課題に批判的にアプローチする志をもって活動を続けてきました。唯物論研究という会名から哲学研究者の集まりを想像されるかもしれませんが、会員はさまざまな分野の研究者から構成されており、分野横断的な団体であることが一つの特徴です。また、研究者のみならず、協会の目的に関心を寄せていただける市民の方々にも参加いただけるよう門戸を開いています。

本協会では、活動の柱として、年誌（『唯物論研究年誌』）を発行・市販し、また年1回の研究大会を開催しています。上に述べた会の趣旨に照らし、年誌では特集で現代世界の焦眉の問題を取り上げ、研究大会でもシンポジウム、分科会をつうじて、アクチュアルな研究課題を設定してきました。年誌、研究大会いずれも、会員のみならず、それぞれのテーマにふさわしい会員外の専門家、研究者の方々に参加・協力いただき、異なる分野、立場からの問題検討がすすむよう努力しています。取り上げた主題それ自体を深く掘り下げるために、権威主義を排し自由で開放的な議論が可能な場をつくれるよう心がけており、若い世代の研究者が専門分野をこえて交流できることを目的として、会費減免や大会参加補助などの支援措置も設けています。

本協会のもっとも大きな特徴は、以上のように、既存の専門分野にとらわれることなく現代世界に生起する諸問題を理論的、思想的に掘り下げるこ

とにあります。この度、その活動を広く紹介したいと考え、電子ジャーナルを発刊することとしました。本創刊号をお読みいただければ、唯物論研究協会がどのようなテーマを取り上げ、検討を重ねてきたか、その一端を理解いただけると思います。グローバリゼーションの進行がもたらす激しい社会・歴史変動のなかにあつて、究明と解決を要する問題群を真摯に受けとめ考え続けようとしておられる方々にとって、電子ジャーナルの発刊が本協会の活動に関心を寄せていただける機会となれば、これに勝る喜びはありません。電子ジャーナルにアクセスいただいた方には、ぜひ『唯物論研究年誌』を手にとつていただくことを願っています。

会員の皆様には、従来お届けしてきた通信に加え、電子ジャーナルの発行が会員相互の交流に役立つことと思います。紙媒体の通信は分量にかぎりがり、研究大会の内容や会員の研究動向等について分量の制限から十分におつたえできないことがありました。電子ジャーナルの発刊によって、そうした欠陥を補い、会員間の交流、共同研究、活発な議論がこれまで以上にすすむことを期待しています。将来的には、電子ジャーナルの特性を活かして、会員の研究成果を活発に相互検討できる場が広がるよう願っております。電子ジャーナルの内容についてもご意見、ご提案を寄せていただくようお願いいたします。